



# 歴史の扉

(財)広島市歴史科学教育事業団  
文化財課

1994年 創刊号



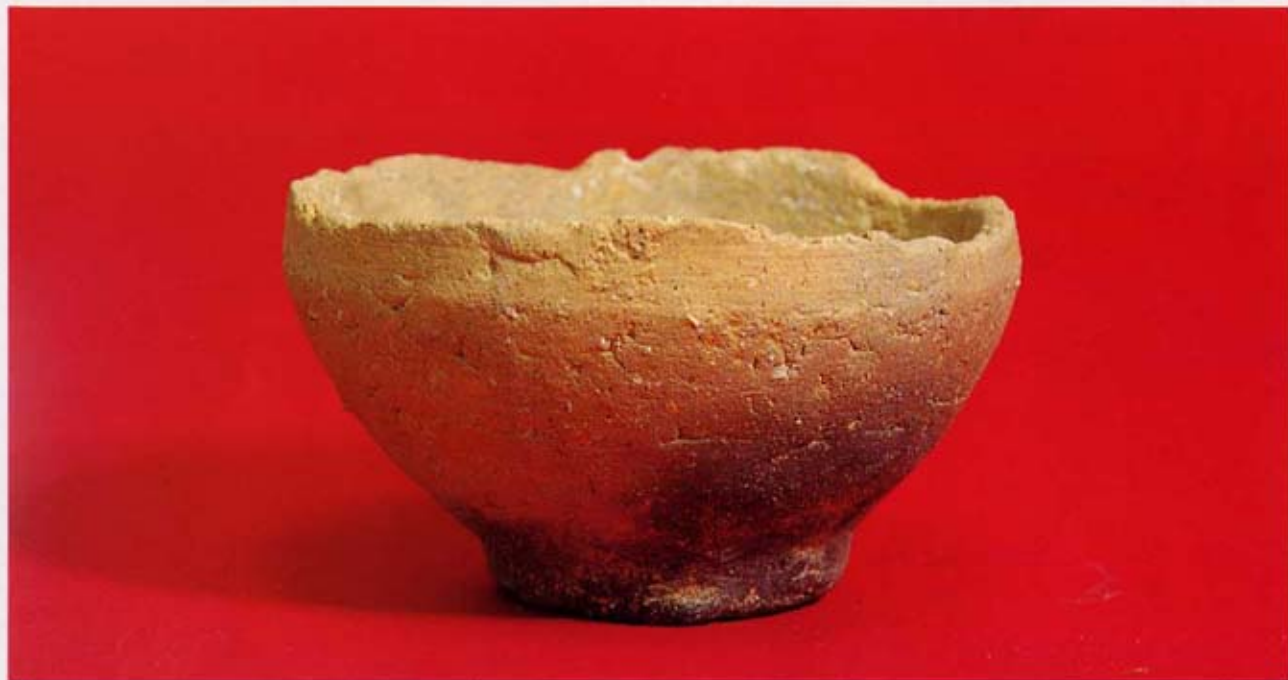
城ノ下A地点遺跡

## 発刊のことば

埋蔵文化財は過去を解く鍵です。その鍵は広島市内だけでもおよそ500か所の遺跡として存在しています。この鍵で歴史の扉を開くときそこにはどのような景色が目の前に広がるのでしょうか。皆さんも一緒に郷土の歴史を見つめてみてはいかがでしょうか。この「歴史の扉」が、皆さんのそういった興味に少しでも応えるものになれば幸いです。

財団法人広島市歴史科学教育事業団

## 弥生時代米事情



遺跡から掘り出された遺物たちに、当時の様子をインタビューしようというこの企画。記念すべき第1回目は、弥生時代の終わり頃のムラ、牛田早稲田遺跡から掘り出された上の写真の土器に、現代の日本でも大問題の「米」についてお聞きします。

1700年ぶりの外の世界、いかがですか？

太陽がまぶしい。

あなたが現役の頃の広島と今、どちらがいますか。

そうじゃのう、海がもっと近かったな。あんたらの住んでるこの大きな街（注、中・南・西区の大部分のこと）は、全部海のなかじゃった。

お茶碗そっくりですが、お仕事はやっぱり食事関係ですか。

そうゆうことになるかのう。

（弥生時代の）主食はお米だったとうかがっていますが。

あれはうまかったらしいの。

そういうことじゃなくて…

わかつとるわい。せっかちじゃのう。

米は食べるには食べとったが、あんまりよけいは（多くは）なかったで。



えっ そうなんですか。

ほうよ。ここらじゃほとんど作っとらんかったしの。田んぼを作れる場所があんまりなかったんじゃ。だいたい出来が悪かったけえの。

ふへん。でも、けっこう田んぼを作っていたところもあったようですが。

そうらしいのう。ほいじゃが（けれども）どんなによけえとれるところでも、米ばっか食うとったら、せいぜい半年しかもたなかったらしいで。

じゃあ、何を代わりに食べてたんですか

どんぐり。

えっ？

どんぐりじゃよ。秋になって山へ行くと堅い殻の実が落ちとるじゃろうが。知らんのか。まったく最近の若いもんは…。

（なんじゃこの茶碗は）いえ、どんぐりは知ってますが、食べられるんですか？

そおよ、あくをぬいて米と一緒に煮て食うとったで。ほいじゃが米のほうがやっぱりうまかったみたいじゃがの。

他にはなかつたんですか

そうじゃのう、山芋や山菜、それに畑もあったけえ（から）、そこで作った麦やアワ・ヒエも一緒にいれてたのう。もちろんおかずは魚・貝・いのししや鹿と色々あったのう。あーあ、眠とうなってきた。

あつ、寝ちゃった。ありがとうございました。

# 平成5年度に行われた発掘調査のあらまし

## 弥生の潮風を感じて～牛田早稲田遺跡

今回、トピックコーナーでとりあげた碗が出土したのが牛田早稲田遺跡です。ここではまた、家の跡も2軒発見され、ムラがあったことがわかります。牛田の西山の中腹にあるこの遺跡からは広島湾を見渡すことができます。おそらくはここに住んでいた人々も当時眼下に迫っていた海を眺めながら心を慰めていたことでしょう。



## アスファルトの下から石垣が～広島城遺跡～

現在内堀のみに囲まれている広島城は、江戸時代は三重の堀を持つ広大な城でした。その堀跡などの発掘調査を今年度は西白島交差点・県庁前・基町高校前交差点の3か所で行いました。その結果、外堀・中堀の石垣が道路面のすぐ下から姿を現し、その堀のなかからは多数の陶磁器、瓦、下駄などの木製品が出土しました。



## 弥生びとの涙をみか～平尾遺跡～

佐伯区五日市町石内を流れる石内川左岸、平野部を見下ろす標高70mほどの小高い尾根上に平尾遺跡があります。平尾遺跡では尾根上という狭い範囲内に40以上の墓の跡が発見されました。これほどの大きな規模の集団墓地が見つかったのはこの近辺では珍しく、当時の死者へのおもいを知るうえで貴重な資料となりました。



## 鎧(よろい)武者が駆け抜けたころ～串山城遺跡～

串山城遺跡は、平尾遺跡から北東約1km、山陽自動車道のすぐ脇にあります。城跡といっても広島城のような、いわゆる“お城”とはイメージのかけ離れた山城の跡で、時代ももっと古く500年から700年ぐらい前のものです。この遺跡からは今のところ地面を掘り込んで作った防御施設などがみついています。



## 歴史の扉／創刊号

発行 財団法人広島市歴史科学教育事業団 文化財課

〒730 広島市中区国泰寺1-4-15 広島市役所北庁舎別館3階 TEL082-248-0427

発行日 1994年(平成6年)3月31日 印刷 株式会社広島デザインセンター